

■ 平成 26 年度 企画展

所蔵品展示 彫刻のさんぽ道

会 期：2014 年 4 月 16 日(水曜)から 5 月 18 日(日曜)まで

岐阜県美術館が誇る彫刻コレクション。ロダン、ブールデル、ルノワール、マイヨール、アルプ、マンズー、ヴァンジ、トルッピアーニ、天野裕夫、榎倉康二、小清水漸、佐藤忠良、杉浦康益、林武史、舟越保武、李禹煥、柳原義達…。美術館庭園から展示室をたどる彫刻のさんぽ道をお楽しみください。

第 68 回岐阜県美術展

一般部：6 月 7 日(土曜)から 6 月 15 日(日曜)まで

一般の部は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの 7 部門からなる公募展。

青年部：6 月 19 日(木曜)から 6 月 22 日(日曜)まで

青年部は、絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の 5 部門からなる公募展。

少年部：6 月 26 日(木曜)から 6 月 29 日(日曜)まで

少年部は、絵画・デザイン、書写の 2 部門からなる公募展

パスキン —エコール・ド・パリ、愛と旅の詩人

会 期：7 月 8 日(火曜)から 8 月 24 日(日曜)まで

エコール・ド・パリを代表する画家ジュール・パスキン(1885—1930)。45 年の短い生涯のなか世界各地を旅しながら、繊細な描線と真珠母色と喩えられる色彩による作品を制作し、人気を博しました。生誕 130 周年を前に、パリ市立近代美術館や国内のコレクション約 100 点によりパスキンの画業を振り返ります。

守一のいる場所 熊谷守一展

会 期：9 月 5 日(金曜)から 10 月 19 日(日曜)まで

熊谷守一(1880—1977)は、現在の中津川市付知町に生まれた郷土ゆかりの洋画家です。小さな板の上に身近な自然や生き物の姿を、簡明な輪郭線と色面で表現し、脱俗した生き方は、多くの美術ファンを魅了してきました。油彩画 200 点、水墨画や素描など 100 点を超える作品を展示し、熊谷守一が見ていた世界を紹介します。

今をいろどる ～現代日本画の世界

会 期：10月31日(金曜)から12月14日(日曜)まで

膠(にかわ)と顔料を用いた伝統的技法によって表現される絵画、「日本画」。21世紀の今日において、伝統的な日本画の技法に取り組む作家たちは、何を理想美として追い求め、どのような表現を試みているのでしょうか。当館所蔵の現代日本画に、いま活躍中の作家の新作等を併せて「日本画の現在」を紹介します。

タグチヒロシ・アートコレクション パラダイムシフト てくてく現代美術世界一周

会 期：2015年2月3日(火曜)から5月17日(日曜)まで

岐阜県郡上市出身の田口弘氏が収集する“タグチ ヒロシ・アートコレクション”。キース・ヘリングに始まり、ポップ・アート、そしてダミアン・ハースト、会田誠や塩田千春ら世界各国で活躍する現代美術家を幅広く包括しています。留まることなく拡散し、価値観を転換させてきた現代美術。作家の鮮烈な感覚で切りとられた「現代(いま)」が一堂に会します。

第39回岐阜県移動美術館 「日本画名品展」

会 場：飛騨高山まちの博物館

会 期：11月8日(土曜)から12月12日(金曜)

スクールミュージアム 「学校の教室が美術館に!？」

会場：岐阜県立斐太高等学校
